

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表9-2 測線-E

単位：個体数/m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	イワフジツボ	3,545.5	84.5	217.4	~ 12,592.5
	コウダカチャイロタマキビガイ	360.8	8.6	0	~ 1,179.9
	ムラサキインコガイ	120.0	2.9	0	~ 201.8
	クロタマキビガイ	38.8	0.9	0	~ 61.8
	チシマフジツボ	36.5	0.9	0	~ 454.5
合計		4,196.9		263.2	~ 12,853.5
出現種類数		52		22	~ 51

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表9-3 測線-F

単位：個体数/m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	コウダカチャイロタマキビガイ	155.0	58.6	0	~ 485.0
	タマキビガイ	19.5	7.4	0	~ 203.0
	テナガホンヤドカリ	18.8	7.1	0	~ 32.5
	ヤマザンショウガイ	18.5	7.0	0.3	~ 63.0
	ヘソアキクボガイ	16.0	6.0	0	~ 6.8
合計		264.5		88.4	~ 4,563.7
出現種類数		28		13	~ 32

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表9-4 測線-I

単位：個体数/m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	コウダカチャイロタマキビガイ	1,583.6	77.3	0	~ 2,023.3
	イワフジツボ	357.1	17.4	51.8	~ 3,508.3
	アオモリムシロガイ	38.1	1.9	0	~ 55.7
	タマキビガイ	16.7	0.8	0	~ 53.8
	コガモガイ	10.9	0.5	0	~ 16.2
合計		2,049.4		166.5	~ 4,884.2
出現種類数		41		20	~ 49

(注) 平成19年度第1四半期より、過去データの解析結果を受けてE・I測線における調査点を変更した。

なお、各測線及び補助測線の測定結果をもとに、参考として作成した潮間帯生物の面的な出現状況は、図5のとおりである（資料2-6）。

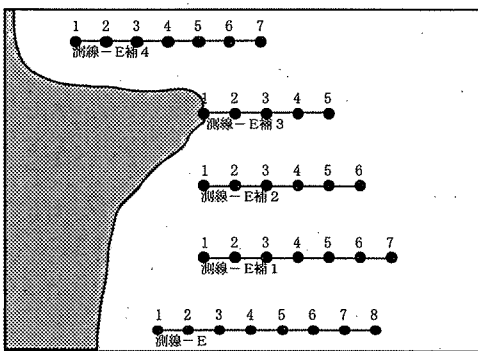
図5 潮間帯生物の面的な出現状況（群集解析結果）

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

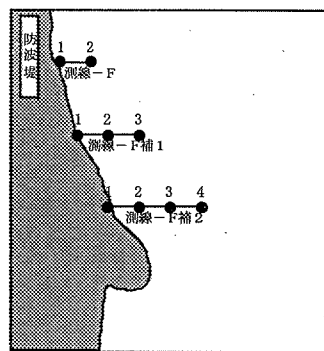
年度 季	測 線	E 測線							測 線	F 測線				測 線	I 測線											
		枠番号／群集番号								枠番号／群集番号					枠番号／群集番号											
平成 30年 度 夏 季	補4	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	F	①	②	③	④	補2	①	②	③	④	⑤	⑥						
	補3					①	②	③		④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫							
	補2					①	②	③		④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫							
	補1					①	②	③		④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫							
	E					①	②	③		④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫							
										①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

(注) : 0 は出現がなかったことを示す。

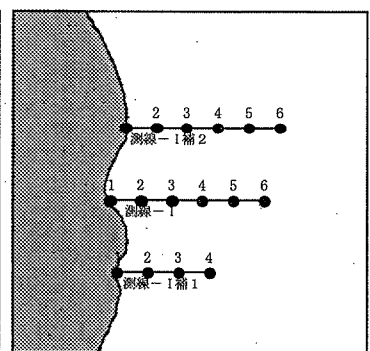
調査位置図 測線-E



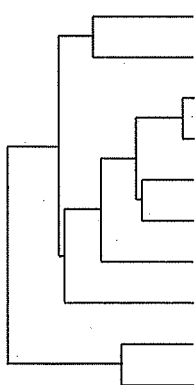
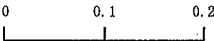
調査位置図 測線-F



調査位置図 測線-I



類似度 (Whittakerの百分率類似度)



群集番号	シンボル	群 集 名
1		コウダカチャイロタマキビガイーミドリチグサガイ
2		タマキビガイーコウダカチャイロタマキビガイ
3		コウダカマツムシガイーヤマザンショウガイ
4		キタムラサキウニーイトマキヒトデ
5		アオモリムシロガイーホンヤドカリ
6		不明種 (イソギンチャク目)ーコガモガイ
7		キタノムラサキガイーエゾサンショウガイ
8		イガイーチシマフジツボ
9		イワフジツボームラサキインコガイ
10		ムラサキインコガイーイワフジツボ

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から面的な出現状況の把握のため、補助的な調査を開始した。平成13年度から解析方法を一部変更した。

群集解析とは、生物種群の組成から客観的（統計的）に類似しているもの（群集）を分類して、いくつかのグループに分け、それぞれの地点の群集構造の変遷をとおして面的な出現状況及び環境の状況を把握する方法である。

イ 底 生 生 物

(ア) マクロベントス

i) GH-1.5地点以外

調査結果 (GH-1.5地点を除く) の概要は表10-1のとおりである (資料2-7)。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、ボンタソコエビ *Synchelidium lenorostralum*、キョウスチロリ *Goniada maculata*、マルソコエビ科の1種 *Urothoe* sp.など64種の出現がみられた。これまでの調査で出現がみられなかったカザリゴカイ科の1種 *Melinna* sp.および過去の同一四半期の調査で出現がみられなかったチヨノハナガイ *Raetellops pulchellus*が今四半期新たに出現し、過去の同一四半期に出現したキララガイ *Acila insignis*、トゲドロクダムシ *Corophium crassicorne*、センベイサンパツソコエビ *Synchelidium americanum latipalpm*など133種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：個体数；個体数/m²

湿重量；g/m²

表10-1 概要表

種 類 名	平均 個体数	%	平均 湿重量	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)		
				平均個体数	平均湿重量	
優 占 種	ボンタソコエビ (<i>Synchelidium lenorostralum</i>)	40.0	17.3	0.04	7.1 ~ 76.7	0.02 ~ 0.10
	キョウスチロリ (<i>Goniada maculata</i>)	38.8	16.8	0.20	0 ~ 26.7	0 ~ 0.14
	マルソコエビ科の1種 (<i>Urothoe</i> sp.)	22.1	9.6	0.03	0 ~ 248.3	0 ~ 0.19
	サクラガイ (<i>Nitidotellina nitidula</i>)	12.9	5.6	0.25	0 ~ 24.2	0 ~ 1.94
	ヒサシソコエビ科の1種 (<i>Paraphoxus</i> sp.)	11.3	4.9	0.05	0 ~ 6.3	0 ~ 0.13
合 計	231.2		6.81	77.8 ~ 628.4	1.94 ~ 142.38	
出現種類数		64		37 ~ 72		
新 規 出 現 種	カザリゴカイ科の1種 (<i>Melinna</i> sp.)	0.4		0.01	0	0
	チヨノハナガイ (<i>Raetellops pulchellus</i>)	0.4		+	0	0
出 現 せ ず	キララガイ (<i>Acila insignis</i>)		0		0 ~ 20.8	0 ~ 3.55
	トゲドロクダムシ (<i>Corophium crassicorne</i>)		0		0 ~ 32.9	0 ~ 0.04
	センベイサンパツソコエビ (<i>Synchelidium americanum latipalpm</i>)		0		0 ~ 7.9	0 ~ 0.01

(注) + : 0.01 g/m²未満を示す。

平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査地点を一部変更した。

ii) GH-1.5地点

GH-1.5地点の調査結果の概要は表10-2のとおりである（資料2-7）。

個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、ギボシイソメ科の1種 *Lumbrineris longifolia*、タケフシゴカイ科 *Maldanidae*、サクラガイ *Nitidotellina nitidula* など28種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現したハナオカカギゴカイ *Sigambra tentaculata*、オカメブンプク *Echinocardium cordatum*、クビナガスガメ *Ampelisca brevicornis* など117種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：個体数；個体数/m²

湿重量；g/m²

表10-2 GH-1.5地点

種 類 名	個体数	%	湿重量	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)		
				個体数	湿重量	
優 占 種	ギボシイソメ科の1種 (<i>Lumbrineris longifolia</i>)	290.0	29.1	2.40	0 ~ 1,335.0	0 ~ 10.35
	タケフシゴカイ科 (<i>Maldanidae</i>)	120.0	12.1	2.95	0 ~ 375.0	0 ~ 7.85
	サクラガイ (<i>Nitidotellina nitidula</i>)	90.0	9.0	46.40	0 ~ 380.0	0 ~ 168.50
	カザリゴカイ科の1種 (<i>Ampharete acutifrons</i>)	60.0	6.0	0.45	0 ~ 390.0	0 ~ 5.35
	キララガイ (<i>Acila insignis</i>)	55.0	5.5	23.85	0 ~ 180.0	0 ~ 88.35
合 計	995.0		108.80	335.0 ~ 3,020.0	42.90 ~ 727.99	
出現種類数		28		13 ~ 39		
新規出現種						
出 現 せ ず	ハナオカカギゴカイ (<i>Sigambra tentaculata</i>)		0		0 ~ 60.0	0 ~ 0.20
	オカメブンプク (<i>Echinocardium cordatum</i>)		0		0 ~ 40.0	0 ~ 465.70
	クビナガスガメ (<i>Ampelisca brevicornis</i>)		0		0 ~ 40.0	0 ~ 0.15

(注) 平成19年度第1四半期より、泊発電所専用港内の調査地点 (GH-1.5) の調査結果は、その他の地点の調査結果と分けて評価を行うこととなったため、GH-1.5地点だけの表を追加した。

(1) メガロベントス

目視観察結果の概要は表11-1のとおりである（資料2-8）。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、測線全体ではムラサキインコガイ、コシダカガンガラ、キタムラサキウニなど54種の出現がみられた。過去の同一四半期の調査で出現がみられなかったイシコが今四半期新たに出現し、過去の同一四半期に出現したエボヤ、エゾヒトデ、キヒトデなど21種は出現しなかった。

なお、調査測線毎の集計結果は表11-2～4のとおりである。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10日

表11-1 概要表

単 位：個体数/10m²

種 類 名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (H 9.4 ~ H30.3)	
優 占 種	ムラサキインコガイ	262.4	51.0	148.3	~ 1,729.4
	コシダカガンガラ	41.8	8.1	6.5	~ 48.9
	キタムラサキウニ	32.5	6.3	13.3	~ 37.5
	コベルトフネガイ	29.5	5.7	0	~ 12.5
	ヘソアキクボガイ	29.4	5.7	2.4	~ 41.3
合 計		514.4		358.4	~ 2,038.1
出現種類数		54		41	~ 56
新規 出現 種	イシコ	0.1		0	
出 現 せ ず	エボヤ	0		0	~ 3.7
	エゾヒトデ	0		0	~ 1.1
	キヒトデ	0		0	~ 1.3

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査地点を一部変更した。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10日

表11-2 測線-E

単位：個体数/10m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (H9.4 ~ H30.3)	
優 占 種	ムラサキインコガイ	774.0	74.7	347.8 ~	5,008.0
	コベルトフネガイ	84.4	8.1	0 ~	25.4
	コシダカガンガラ	53.8	5.2	6.2 ~	74.0
	キタムラサキウニ	21.2	2.0	12.0 ~	44.2
	キタノムラサキイガイ	15.2	1.5	0 ~	271.8
合計		1,036.4		631.0 ~	5,161.2
出現種類数		34		21 ~	46

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査を開始した。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10日

表11-3 測線-F

単位：個体数/10m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	ヘソアキクボガイ	39.4	17.1	0 ~	73.2
	イトマキヒトデ	34.4	14.9	5.6 ~	37.4
	コシダカガンガラ	30.8	13.4	1.4 ~	39.6
	タマキビガイ	25.4	11.0	0.6 ~	694.2
	キタムラサキウニ	20.8	9.0	2.6 ~	34.2
合計		230.2		51.2 ~	889.4
出現種類数		27		14 ~	34

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10日

表11-4 測線-I

単位：個体数/10m²

種類名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (H9.4 ~ H30.3)	
優 占 種	キタムラサキウニ	55.6	20.1	3.4 ~	53.8
	ヘソアキクボガイ	47.4	17.1	0.6 ~	52.0
	コシダカガンガラ	40.8	14.8	5.2 ~	46.8
	タマキビガイ	24.4	8.8	0.8 ~	120.0
	イトマキヒトデ	19.4	7.0	1.8 ~	13.2
合計		276.4		183.0 ~	836.6
出現種類数		42		30 ~	45

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査を開始した。

ウ 海 藻

目視観察結果の概要は表12-1のとおりである（資料2-9）。

出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、測線全体では無節サンゴモ類、イソガワラ、ミツデソゾなど44種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現したウラソゾ、アカバギンナンソウ、モロイトグサなど49種は出現しなかった。

なお、調査測線毎の集計結果は表12-2～4のとおりである。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表12-1 概要表

単 位：被度；%

種 類 名	被 度 の 分 布 状 況													平均被度	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)		
	0	R	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100					
優 占 種	無節サンゴモ類	4	30	1	2	1	1		3	1	2	2		18	5	~	25
	イソガワラ	3	35	4	1	2	1			1				9	0	~	7
	ミツデソゾ	20	27											3	0	~	3
	アミジグサ	25	22											2	-	~	4
	ミヤベモク	28	19											2	1	~	14
出 現 種 類 数													44	36	~	56	
新規出現種																	
出 現 せ ず	ウラソゾ													0	0	~	3
	アカバギンナンソウ													0	0	~	2
	モロイトグサ													0	0	~	1

(注) 被度の分布状況欄の「R」は10%未満を示す。

- : 1%未満を示す。

平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から出現種類毎の被度の状況（平均被度）を集計した。

平成19年度第1四半期より、過去データの解析結果を受けてE・F・I測線における調査点を変更した。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表12-2 測線-E

単 位：被度；%

種 類 名		平 均 被 度	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	無節サンゴモ類	15	1 ~	21
	イソガワラ	8	0 ~	5
	アミジグサ	3	- ~	5
	ピリヒバ	3	2 ~	8
	ミツデソゾ	3	0 ~	3
出 現 種 類 数		42	28 ~	43

(注) - : 1%未満を示す。

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表12-3 測線-F

単 位：被度；%

種 類 名		平 均 被 度	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	イソガワラ	20	0 ~	24
	無節サンゴモ類	13	10 ~	45
	ミツデソゾ	3	0 ~	5
	フジマツモ	2	0 ~	2
	エゾヤハズ	2	0 ~	7
出 現 種 類 数		21	13 ~	28

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

表12-4 測線-I

単 位：被度；%

種 類 名		平 均 被 度	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	無節サンゴモ類	26	2 ~	28
	イソガワラ	5	0 ~	5
	ピリヒバ	3	3 ~	11
	オキツノリ	3	2 ~	5
	フジマツモ	3	2 ~	21
出 現 種 類 数		27	23 ~	42

(注) 平成19年度第1四半期より、過去データの解析結果を受けてE・F・I測線における調査点を変更した。

なお、各測線及び補助測線の測定結果をもとに、参考として作成した海藻の面的な出現状況は、図6のとおりである（資料2-10）。

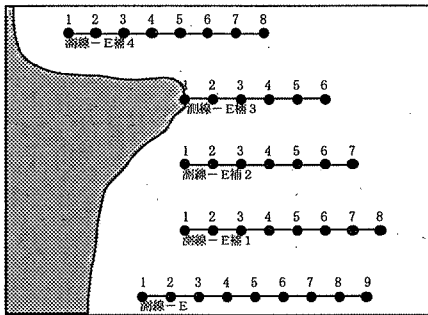
図6 海藻の面的な出現状況（群集解析結果）

調査年月日：平成30年8月7、8、9、10、16日

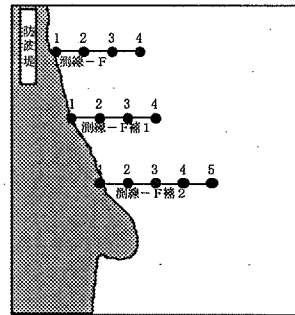
年度 季	測 線	E 測線									測 線	F 測線					測 線	I 測線						
		枠番号/群集番号										枠番号/群集番号						枠番号/群集番号						
平成 30 年度 夏季	補4	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	F 補1 補2	①	②	③	④	I 補2 補1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	補3	1	1	1	1	1	2	2	2	2		1	2	2	2		1	1	2	1	1	2	2	
	補2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	補1	1	1	2	1	2	3	2	2	2		①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	E	3	2	1	1	1	1	1	1	2		①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	

(注) : 0 は出現がなかったことを示す。

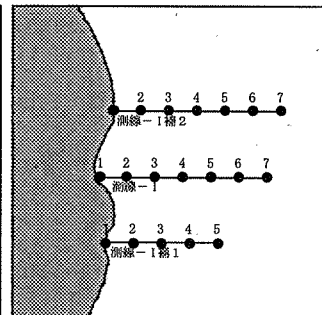
調査位置図 測線-E



調査位置図 測線-F

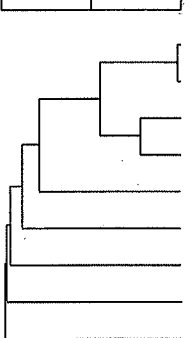


調査位置図 測線-I



類似度 (Whittakerの百分率類似度)

0 0.1 0.2



群集番号	シンボル	群集名
1		無節サンゴモ類-イソガワラ-ミヤベモク
2		無節サンゴモ類-イソガワラ-ミツデソ
3		シオグサ属の1種-フクロフノリ
4		ウップルイノリーランソウモドキ
5		アナアオサ-フジマツモ
6		アミジグサーボウアオノリ
7		キブライトグサ
8		イソダンツウ
9		ウスバアオノリ

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から面的な出現状況の把握のため、補助的な調査を開始した。平成13年度から解析方法を一部変更した。

群集解析とは、生物種群の組成から客観的（統計的）に類似しているもの（群集）を分類して、いくつかのグループに分け、それぞれの地点の群集構造の変遷をとおして面的な出現状況及び環境の状況を把握する方法である。

エ 魚等の遊泳動物

調査結果の概要は表13のとおりである（資料2-11）。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、マサバ、ヒラツメガニ、カナガシラなど16種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現したクロガシラガレイ、スナガレイ、サメハダヘイケガニなど49種は出現しなかった。

表13 概要表

調査年月日：平成30年8月8日、9月26、27日

種類名	平均 個体数	%	平均 重量(g)	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)		
				平均個体数	平均重量(g)	
優 占 種	マサバ	110.2	46.6	6,687.3	0 ~ 35.2	0 ~ 5,838.8
	ヒラツメガニ	76.8	32.5	8,010.5	0.2 ~ 136.3	3.3 ~ 13,629.5
	カナガシラ	17.8	7.5	1,892.5	0 ~ 33.2	0 ~ 1,892.7
	ヒラメ	10.0	4.2	4,324.7	2.2 ~ 29.0	138.0 ~ 9,890.0
	シロザケ	6.0	2.5	14,380.2	0 ~ 68.8	0 ~ 224,947.3
合 計	236.5		41,374.7	54.1 ~ 1,385.9	9,488.9 ~ 247,436.5	
出現種類数		16		12 ~ 27		
新規 出現 種						
出 現 せ ず	クロガシラガレイ		0		0 ~ 3.0	0 ~ 653.5
	スナガレイ		0		0 ~ 5.3	0 ~ 479.0
	サメハダヘイケガニ		0		0 ~ 57.5	0 ~ 858.3

オ 卵 ・ 稚仔

(7) 卵

MTDネットによる採集結果の概要は表14のとおりである（資料2-12）。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、ネズツポ科、単脂球形卵2、カタクチイワシなど7種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現した単脂球形卵1、ウシノシタ亜目、単脂球形卵3など18種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：個体数/100m³

表14 概要表

種 類 名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	ネズツポ科	331	75.3	5 ~	2,175
	単脂球形卵 2	96	21.9	+ ~	49
	カタクチイワシ	10	2.4	0 ~	9,457
	単脂球形卵 6	1	0.2	0 ~	169
	単脂球形卵 16	1	0.1	0 ~	9
合 計		439		10 ~	9,937
出 現 種 類 数		7		4 ~	12
新規出現種					
出 現 せ ず	単脂球形卵 1	0		0 ~	947
	ウシノシタ亜目	0		0 ~	66
	単脂球形卵 3	0		0 ~	4

(注) + : 1個体/100m³未満を示す。

平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査地点を一部変更した。

また、平成18年8月の基本計画の改正に伴い、平成18年度第3四半期から調査地点を追加した。

(イ) 稚仔

MTDネットによる採集結果の概要は表15のとおりである（資料2-13）。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、カタクチイワシ、ネズッコ科、ハゼ科など7種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現したイソギンポ、カレイ科、不明稚仔魚1など34種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：個体数/100m³

表15 概要表

種 類 名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	カタクチイワシ	2	59.8	+ ~	276
	ネズッコ科	1	15.9	0 ~	21
	ハゼ科	+	12.1	0 ~	2
	アシコウ科	+	5.6	0 ~	+
	サバ属	+	2.8	0 ~	3
合 計		4		1 ~	287
出 現 種 類 数		7		4 ~	12
新規出現種					
出 現 せ ず	イソギンポ	0		0 ~	1
	カレイ科	0		0 ~	2
	不明稚仔魚 1	0		0 ~	1

(注) + : 1個体/100m³未満を示す。

平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から調査地点を一部変更した。

また、平成18年8月の基本計画の改正に伴い、平成18年度第3四半期から調査地点を追加した。

カ 動物・植物プランクトン

(7) 動物プランクトン

ネット法による採集結果の概要は表16のとおりである（資料2-14）。

平均個体数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、甲殻綱 Copepodite of *Paracalanus*、Nauplius of COPEPODA、二枚貝綱 *Umbo larva* of BIVALVIAなど68種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現したヒドロ虫綱 Hydroida、甲殻綱 Zoea of Brachyura、Isopodaなど123種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：個体数/m³

表16 概要表

種 類 名		平均個体数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	甲殻綱 Copepodite of <i>Paracalanus</i>	4,840.6	31.0	191.5 ~	12,870.6
	Nauplius of COPEPODA	3,234.4	20.7	341.6 ~	6,617.5
	二枚貝綱 <i>Umbo larva</i> of BIVALVIA	1,048.8	6.7	6.6 ~	1,168.7
	尾索綱 <i>Oikopleura dioica</i>	614.8	3.9	0 ~	2,149.4
	甲殻綱 <i>Evadne spinifera</i>	608.6	3.9	0 ~	1,426.6
合 計		15,591.8		2,490.5 ~	33,838.5
沈 殿 量 (cm ³ /m ³)		6.2		1.8 ~	29.8
出 現 種 類 数		68		37 ~	74
新 規 出 現 種					
出 現 せ ず	ヒドロ虫綱 Hydroida	0		0 ~	39.6
	甲殻綱 Zoea of Brachyura	0		0 ~	15.8
	Isopoda	0		0 ~	14.0

(注) 平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度からネット法による採集のみとした。

また、この他に平成9年度から沈殿量の集計を開始した。

さらに、平成18年8月の基本計画の改正に伴い、平成18年度第3四半期から調査地点を追加した。

(イ) 植物プランクトン

採水法による採集結果の概要は表17のとおりである（資料2-15）。

平均細胞数の合計及び出現種類数は過去の同一四半期の範囲内であり、珪藻綱 *Hemiaulus hauckii*、*Hemiaulus membranaceus*、*Chaetoceros* spp.など87種の出現がみられた。過去の同一四半期に出現した珪藻綱 *Chaetoceros didymum*、*Chaetoceros radicans*、*Chaetoceros anastomosans* など139種は出現しなかった。

調査年月日：平成30年8月3日

単 位：細胞数/L

表17 概要表

種 類 名		平均細胞数	%	過去同一四半期の範囲 (S61.9 ~ H30.3)	
優 占 種	珪藻綱 <i>Hemiaulus hauckii</i>	82,272	73.5	0 ~	184,992
	<i>H. membranaceus</i>	9,282	8.3	0 ~	10,273
	<i>Chaetoceros</i> spp.	5,124	4.6	0 ~	128,832
	<i>Cerataulina pelagica</i>	2,316	2.1	3 ~	200,277
	<i>Bacteriastrium</i> sp.	1,669	1.5	0 ~	3,717
合 計		111,920		6,115 ~	1,321,992
クロロフィル a ($\mu\text{g/L}$)		0.8		0.2 ~	2.0
沈 殿 量 (cm^3/m^3)		34.8		41.4 ~	393.3
出 現 種 類 数		87		37 ~	89
新 規 出 現 種					
出 現 せ ず	珪藻綱 <i>Chaetoceros didymum</i>	0		0 ~	11,357
	<i>C. radicans</i>	0		0 ~	27,094
	<i>C. anastomosans</i>	0		0 ~	14,560

(注) sp. は種まで同定できなかったものが1種類出現したことを示す。

spp. は種まで同定できなかったものが複数種類出現したことを示す。

平成8年7月の基本計画の一部改正に伴い、平成9年度から採水法による採集のみとした。

また、この他に平成9年度からクロロフィル a (参考値) の調査及び沈殿量の集計を開始した。

さらに、平成18年8月の基本計画の改正に伴い、平成18年度第3四半期から調査地点を追加した。